

10月17日（木）第3回ワークショップ ふりかえりシート 記述

参加者：34名 ふりかえりシート回収：31枚

<参加者の年代>

30代（1名） 40代（7名） 50代（4名） 60代（18名） 無回答（1名）

<参加者お住いの地区>

東地区（5名） 中地区（13名） 北地区（1名） 南地区（4名） 西地区（5名） 無回答（3名）

1. 本日の市の説明を聞いて感じたこと、印象に残ったことを書いてください。

- ・説明を聞いて、これは小中一貫校は無理だなと感じた。
- ・教育委員会の説明は認識を深めることができましたが、現状（現場）を把握してほしい。
- ・先が決まっていて、早く事を済ませたい感じがした。
- ・小中一貫教育と一貫校の説明が少ない。一貫教育はよくわかったが一貫校である必要性が少ない（一貫校でなくてもよいと思った）。
- ・小中一貫ワークショップ、グループ討議にて、実現迄の期間6年以上と長く、町内小学校の複式比率が多くなっていく現状。完成迄同時進行にて早い時期に小学校統合による町内教育の水準を均一にしていくことが急務。
- ・小中一貫教育と、小中一貫校の説明をくちやくちやくにして説明。多度の特徴ある教育として何をしようとしているのか不明だった。もっとそれらしいビジョンを作って欲しい。
- ・ランドデザイン資料2を教育のリーダーである教育委員会が作ったとみると「空論」実効性のなさに悲しい思いをした。科学的理論、評価の客観性が記されている。もっと研究してください。
- ・ボタンのかけちがいではなく、スタート時点から、ごりおし事業を推進している。民意は、どこにも反映されていない。
- ・多度の学校教育をどうしたいのかから、はじめるべきで、今までの時間はむだではなく、スタートラインにもどってほしい。
- ・D班のいきどおりに拍手。やはり誠意をしめしてほしいと思う。
- ・教育委員会と今まで説明のあった行政との温度差というか意味不明を感じる。特に今回教育委員会の説明は意味なかった。
- ・教育とまちづくりを並行して進めていく必要性を感じました。
- ・どんなものを作るかがまとまってないのに、課題も出しにくい。
- ・まちづくり（多度町の活性化）をふまえての一貫校設立であるという挨拶の言葉通り、建物だけでなく多度町、桑名市の将来をもう少しきちんと説明していただけるとよいと思いました。
- ・どこの地域にでも当てはまるランドデザイン。独自性が感じられない。
- ・小中一貫教育の指針は多度版でないので全く地区市民の心をうたない。文科省ベースで資料を作らず、本当に自分たちの力でつくってほしい。
- ・市教育委員会の話を聞いて、こんな学校に通わせたいと思いました。まだまだこれからだと思いますが、耳を傾け考えていきたい。

- 小中一貫教育の話（教育委員会からの）は、多度に関する内容はなく、これまでも小中の校区内でやってきたことばかりに感じます。多度に一貫校をつくる理由になるものはなかったし、わかりにくかった。やはり地域の学校のことは地域の声をきいていかないと、よい学校、えらばれるような学校にはなっていないと感じます。
- 副市長が初めて挨拶したが、なぜ最初から市長・教育長等が出席して、小中一貫のビジョンを示さないのか残念だった。
- 副市長はある程度の数字を示されたが、最初から隠さずに公表し、そこで議論をつみあげていけば、もっとスムーズにいったのではないか。
- 難しかった。
- とにかく、ていねいに話し合われたことを土台として次へと進んでいってほしい。
- 場所選定に関して一般の説明、納得もなしに多度中小学校に決まったように思うので不信感がつのる。
- 市は何を慌てて進めようとしているのか手順が悪いので、ギロンが進めない・・・が市は一方的に推してくる。もっと市民の声を聞き、積み上げて「タタキ台」をつくること。もっと多くの声を集める場をつくるべき！
- 多度の中を実際に歩いたり、住民（大人や子ども）と話をしたりしてもらっていないとわかりました。
- グループ討議を行ったが、市の方と、参加者と話がかみあわない。小中一貫で市はこだわっているのは何故一。回答なし。
- 行政の説明（教委）を聞いていると、小中一貫（一ヶ所へ小・中学校を設置）しなくても、もっと考えれば現小学校にて対応（小学校のみ再編）ですむのではないか。
- 中小で進める予算、レイアウトを示してほしい。
- 良い所の話が先行して本当の意味の議論が行なわれていない。
- 方向性については問題ないとは思いますが、一般的な内容でしかないです。
- 具体的なことをききたかった。
- 教育委員会も、いつも理想を述べるか。他施設で先行している自治体の失敗例から学ばなければいけない。そうしないと、なぜ多度からやるのかの質問に答えられない⇒リスク管理
- 色々な意見が聞けてよかったです。

2. グループワークを終えて、ご感想やお感じになられたことを書いてください。

- それぞれ各人の意見を発表しただけで、共通の認識をもてたという感じはまったくなかった。
- ワークショップの出席者が少ない。出席者は同じメンバー。未だに市からの回答がないとの発表。
- 地域の人に意見を言わせて、すすめさせている感じがした。
- 進め方に問題が多かった。少しずつ改善されているが、市長も出てきてほしかった。
- 多度中小跡での建設は賛成だが今後、課題実現に向け本日のワークショップでの皆さんの疑問に対して回答が欲しい。
- 6年かかるとの事。それなら小学校を早く統合する必要がある。
- なぜ小中一貫校かがわからない。
- もう参加したくない。教員がどうかかわからない人が大声で批評ばかりして全くおもしろくない。

- ごりおし事業におもえる。申し訳ないが・・・。
- 市長がきちんと説明すべき（多度出身であるがために特に）
- 皆、多度のまちづくりについて真剣に話ぐできた。ただし、感情論に流れるところもあつたので、建設的ではない場面もあり残念でした。
- 意見は出したがこれからの計画に反映していただけるのか教えてほしい。
- 現時点でも個人的には現存の建物を使う方向を考えていただきたい思ひもあるので、今後どうなつていくのかも（どのように使うのか、とりこわすのか）聞きたいと思ひました。
- 今までの経緯があるので、意見を出しても、また同じ・・・という気持ちでパワーが出てこない。多度の未来、子どもの未来を考えたとき、ビジョン、何年計画で進めていくとかの施策がほしい。当面の東・北小の複式の解消を何とかして助けてほしい。スクールサポーターなどを使ってと案が出ていた。力を募つたら声をあげる人がいるはず。
- いつまでも同じことのくり返し。本来、WSは一定の成果品を生み出していくものなのに、蓄積がないまま、時間経過。小中一貫校前提からゆずられないのでWSもうまくいかないと思う。
- 多度の小中一貫校の敷地や安全面を具体的に考えることができてよかった。いろいろな地域の人や中小周辺の事（交通事情）が聞けてよかった。みんなゆとりの敷地で安全を第一に考えていたので共有できてよかった。
- 多くのグループで、「本当に多度の子どもたちの将来を考えて」の意見があつたこと、とてもみなさんの多度を想う気持ちが伝わりとても良い時間が持てたと感じました。中には、「そもそも事業の前に・・・」という意見も多くあつたと思ひますが、その意見も当然だと感じました。今まで多く参加させてもらったワークショップ、懇話会で何度も不安や、意見を皆さん出されても桑名市に届いている実感がありません。今後は本当に「対話」ができ、皆さんの意見が伝わり、一緒に作つていけるものになるといいと心から切に願ひます。
- 児童・生徒の安全第一で考えていきたい。そのためには、広くゆとりのある敷地面積が必要。中小を除いて、40,000㎡は絶対必要。
- 自分の気づかなかつたような観点からの意見を聞き勉強させられた。
- とにかく、ていねいに話し合われたことを土台として次へと進んでいってほしい。
- 市側からの質問に対する回答がないという点に不信感が強い人が多。
- そもそも論が腹に落ちてない人が多い。市民の声には、必ずANSしていく事。ワークショップになつていない！
- 何のためのワークショップなのか？ただ回数を重ねるだけで今まで出された疑問や意見に対する市としての回答がなく、次々市都合（スケジュール）で、いつのまにか話がかつわっていく。そのことに、参加している者は不満感が募るだけで、「ワークショップで出たから」という言い訳に使われるのではないかという不信が湧いてきた。
- グループワークを何回進めても前に進むことは無いと思う。質問に対しての回答が無いので自分自身腹落ち出来ていない。
- ワークショップ等の意見に対する市の回答がないことを深く感じた。
- 「中小でやつていく」ありきの進め方に納得いかない。どうして「中小」になつたのか？
- 意見は正しい、もっともだけど、どうしても一般的なものとなつてしまった。

- 子どもの安全を考えていかなければいけない。地元と子どものつながりをよく考えていこう。
- Dチームの根本的な疑問を、どのように取り扱うか。いつも、この問題が残る。

3. その他、ご意見があればお書きください。

- 早急に小学校の統合を考えて欲しい。
- 多度地域のこの先を考えているなら、今、早くすべき事を先にやらなければならないのではないのか。本当に考えているように思えない。桑名の町の方でも同じような事があったが、反対で、できなかった話をきいているから、多度も同じようになるのではと思う。多度住民の信頼がないのに、同じ事のくり返しではと思う。
- 時間を十分とって市長と話ができれば、進むのではないか。
- 市長、教育長の出席を希望。同じことを書いている。前にすすんでいるとは、言えない。
- とにかく何回出席しても理解不能。市長公約により行政が行動している。
- ワークショップとは別に、そもそも小中一貫を行うことについての議論の場を設ける必要があると思います。(結論は出ませんが……。ワークショップを建設的な場にするためには、感情論の方を分けるために必要であると思います。
- 教委の方の説明について放課後の子どもの居場所づくりと言われたが、現在、市は放課後クラブのお金をカットしてきてボランティアの方の活動は全部ストップしている。給食も自校給食でなくなっている。この現状がまた今日の説明のように戻っていくのでしょうか。
- 本当にこの事業は先があるのでしょうか……。
- まだ納得されてない意見もあったし、広さが確保されないと進まない話だと感じます。グループの話にもあったが、小学校だけの統合も視野に入れていくべきだと感じます。
- 統廃合のための小中一貫にならないように、多度が活気づくような学校をつくっていきたい。
- 「小中一貫教育目標」の表については、「多度」を「〇〇」にかえれば、どこにでも使えるものであり、以前の多度の取り組みより後退しているようにみえるが？
- 大きくまとめると、落ちこぼれや吹きこぼれが心配。グラス・スミス曲線が大いに参考となるように、キメ細かい教育ができるには小さい学校が良いと思う。(先生の質、対応力等心配が多い) コミュニティスクールでは意見が言い難い。
- 市長自ら、多度に来て説明すべきである。
- ファシリテータさん大変だったね！理解していただくは聞きあきた。回答して下さい。
- 市長の出席を求めます。(日程は市長に合せば良いと思う)
- もう一度原点から話し合ってはどうか。
- 市長からの説明を！
- 参加者は全員が良い学校を作ろうと思っている。全員の意見に誠意を持って答えてほしい。不信感が残るだけである。最初から何年かって今があるのか。今でも参加者に不信感が残るのは市の怠慢である。
- ものたりない感があった。
- 住みよい町づくりをしていきたい。